

1 背景

近年、動物愛護の気運が高まる中、国の動物愛護管理施策が、動物の「保護・管理」から、「愛護・譲渡推進」に重点をおく政策へと転換された。これを受け、愛知県動物愛護センターでは犬や猫を一頭でも多く新たな飼い主に譲渡できるよう取り組んでいるが、より一層譲渡を推進するため、拠点となる新たな施設の整備と現動物愛護センターの機能の見直し及び強化に向けた基本構想の策定を進めてきた。

2 動物愛護センターの課題

- 動物の愛護・譲渡を一層推進していく上で、現在の動物愛護センターは、施設が老朽化している。
- 犬猫の譲渡推進のための施設設備が整っていないなど構造に課題を抱えている。

3 施設整備の考え方及び方向性

- ① 動物の愛護・譲渡推進に特化した新たな拠点施設となる「譲渡推進センター（仮称）」を新設する。
- ② 動物の「管理」業務を引き続き動物愛護センター本所・支所で実施していくため、老朽化が進んでいる現施設の現地建替えを進めていく。

4 施設概要及び整備場所

○譲渡推進センター（仮称）：森林公園隣接県有地（尾張旭市大字新居、右上図）

譲渡対象となる動物の健康管理から譲渡の実施及び動物愛護啓発まで、一貫した動物愛護・譲渡の取組を実施していくため、こうした取組の拠点にふさわしい施設・設備を整備する。

都市部からのアクセスのよさ、施設の周辺環境への影響等の視点から検討した結果、森林公園に隣接した県有地を整備候補地とする。当該候補地は、周囲が広大な自然に囲まれていることから、地域住民の生活など周辺環境に配慮しながら、保護犬・猫の飼養管理や新たな飼い主探しをする場所を確保できる。また、森林公園に集う幅広い世代の方に譲渡推進センターに足を運んでいただくことにより、県民の保護犬・猫とのふれあいや動物愛護啓発イベントへの参加をより一層推進することができる。

○現動物愛護センター本所・支所

野犬の捕獲や飼い主の適正飼養の指導等、動物の管理業務を継続して実施する必要があるが、施設の老朽化への対応と合わせて、保護した犬・猫の健康管理・人慣れ訓練のためのスペースや多数の犬猫の一時的な収容に対応するための予備収容能力を備える必要がある。そのため、現地における建替えを順次進めていくとともに、必要な設備を整備し、機能強化を図る。

なお、一宮市は2021年度から中核市に移行しており、同市による独自の動物愛護センターの設置が検討される。そのため、一宮市内に設置している尾張支所については、現地建替えは行わず、譲渡推進センターの開設に合わせ、移転を検討していく。

5 民間との協働の強化

現在動物愛護センターでは、公益社団法人愛知県獣医師会と負傷動物等の治療支援や災害時のペットの飼い主への支援などの業務において連携を図っている。また、35のボランティア団体を協力団体として登録しており、譲渡や動物愛護普及啓発を協働して実施している。今後は、動物愛護業務の更なる推進のため、譲渡推進センターを中心にこれらの団体等との協働をさらに充実・強化していく。

また、譲渡推進センター及び動物愛護センターは、犬猫を飼養管理する特殊な施設であることから、基本計画の段階から専門家である獣医師会等に意見を聴きながら、施設の整備を進める。



6 今後のスケジュール

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
譲渡推進センター												
本所	基本計画・事業者サウンディング調査	基本計画・事業者選定・設要求条件準備書定	実施設計・事業者選定・設要求条件準備書定	基本設計・事業者選定・設要求条件準備書定	実施設計・事業者選定・設要求条件準備書定	基本設計・事業者選定・設要求条件準備書定	造成工事	建築工事	供用開始			
知多支所												
東三河支所												
尾張支所												

現地建替えは行わず、今後、移転を検討